—宝塚市立光明小学校３年生　環境体験学習支援—

生き物つながりたんけん隊　夏季編

～仁川上流の生きもの調査～

◆日時；２０１５年　６月２３日（火）　８：３０～１４：４０
◆場所；仁川上流・広河原
◆目的；身近な仁川に生息する生きものを調査し、川の中にもいろいろな生きものがすんでいることを知る
◆対象；光明小学校３年生　３８名（９班）
担任　堂山先生、補助教員　２名
◆スタッフ；ＭＮＣ２２名（講師；木村(俊)）

春期（５月）は有馬富士公園で、草原や池の中で生きるいろいろな生きものにであいました。夏季は武庫川支流の仁川上流で、川の中の生きものを調べます。流れのある川にはどんな生きものがいるでしょうか。小川に入り、いろいろな生きものを捕まえ、観察し、ハンドブックで調べます。

今年は安全のため岩場をさけ、浅瀬を中心に水に入りました。でも、ちょっと深いところに魚がいるとわかると、果敢に挑戦していました。木の上からウグイスの応援を受け、たくさんの生きものにであいました。

梅雨の晴れ間の暑さにもめげず、学校から往復３時間を超える長い距離でしたが、みんなしっかり歩きました。

スケジュール

８：３０　ＭＮＣスタッフ　光明小学校東(正門)校門前　ケヤキ広場に集合
８：４５　はじめのあいさつ　学校・木下
９：００　出発　学校→阪急小林駅→塔の町（小林聖心女子学院）→千種三丁目→宝塚ゴルフ場横断→仁川うぐいす台（宝塚第一中下）→仁川高丸一丁目→仁川高丸二丁目→仁川高丸三丁目→ピクニックロード→旧阪急仁川自然植物園（トイレ有）→広河原
１０：３０　広河原到着　準備
１０：３５　あいさつ；先生・木下　学習の目的、諸注意；木村

１０：４５　川に入り、生きものの捕獲
１１：３０　捕獲した生きものの同定；各班
１２：００　放流、まとめ；木下　紙芝居「サワガニさあちゃん」；木村
１２：２５　昼食
１３：００　出発（ルートは往路と逆）
１４：３５　学校到着　　１４：４０　解散

時間を追って、「生きものつながりたんけん隊」の活動を写真で紹介します。

❤はじめのあいさつ・出発

よろしくお願いします

学校出発８：４５

聖心女子学院構内　行きは上りが多い

❤仁川・広河原到着

さっそく準備です１０：３０

今はしずかな仁川です

いらっしゃい！ by ドンコ＆オタマ

❤あいさつ・諸注意

ロープの外へは出ないようにしましょう

網の使い方は・・・

❤ただいま捕獲中

はじめはおそるおそる

網はこうやって使うよ

何か入ったかな

草の下にかくれているよ

パレットにいれるとみつけやすい

捕まえたよ～

深いところも大丈夫

石の下にも何かいる

外来魚のブルーギルがいた

❤ただいま同定中

何がいるかな　なかまわけしよう

ハンドブックで調べる

さわってみよう

ハンドブックでもわからないのは、木村博士に聞きます。確認ができたら、記録用紙に記録しました。そして、最後は生きものたちを元の川に返してあげました。

❤各班の成果です　　（写真は一部です）

１班	コヤマトンボ、コオニヤンマ（ぬけがら）、 ガガンボ、カワヨシノボリ、アメリカザリガニ、 ドンコ、ミズカマキリ	
２班	ドンコ、カワヨシノボリ、ハグロトンボ、 コオニヤンマ、カワニナ、スジエビ、ガガンボ、 モンカゲロウ	
３班	ガガンボ、イトミミズ、カワヨシノボリ、 コヤマトンボ、ニンギョウトビケラ、 ヒゲナガカワトビケラ、コオニヤンマ（ぬけがら）	
４班	ヒル、ニンギョウトビケラ、イトミミズ、 アメンボ、ガガンボ、カゲロウ幼虫、 テントウムシ、カタツムリ	
５班	カワヨシノボリ、ミズムシ、ハグロトンボ、 ナミアメンボ、アブの幼虫、ガガンボ、 コヤマトンボ、ナベブタムシ、 ニンギョウトビケラ、テントウムシの幼虫	
６班	ブルーギル、ニンギョウトビケラ、イトミミズ、 ヒル、カワヨシノボリ、ドンコ、コヤマトンボ、 ガガンボ、ミズムシ、シマアメンボ	
７班	ミズカマキリ、カワヨシノボリ、カワニナ、 コヤマトンボ、ドンコ、ガガンボ	
８班	サワガニ、オタマジャクシ、コヤマトンボ、 カワニナ、ガガンボ、ウスバカゲロウ	

９班	コヤマトンボ、ハグロトンボ、カワニナ、 カワヨシノボリ	

❤まとめ

同定が終わったところで集まりました。各班から１人ずつ感想を言ってもらいました。

１班　一番でかい魚をつかまえてみんなで調べられてよかった
２班　川で大きい魚がとれてよかった
３班　魚が３匹とれてよかった
４班　みんなでいっぱい魚がとれて、イトミミズやアメンボ、カタツムリをみつけてうれしかった
５班　川にいろんな生きものがいることが分かった
６班　初めて知った魚もいたのでよかった
７班　いろんな魚が川でとれたのでよかった
８班　サワガニがとれてうれしかった
９班　初めて知った生き物がほとんどだったので、いっぱいその特徴も知れてよかった

もっと言いたい人が言いました。
・ぼくが川に入って、何もとれなかったので、くやしかったです
・川がきれいな水や汚い水、４段階に分けてある。へんな虫とかつかまえてよかったです。
・川遊びをやって、魚とかもとれたのでよかったです。

最後に木村博士の紙芝居　**「さわがに　さあちゃん」**がひろうされました。
サワガニのさあちゃんが、生まれ育った川をはなれて、まちを見に行きます。ところが、川はコンクリートで固められていて・・・。元の川へ帰ってきて、ほっとします。

木村博士の「さわがにさあちゃん」は初演でした。木村博士いわく、「頭に描いていたことと違うことをしゃべってしまった」そうです。でも、児童たちは楽しそうでした。１匹だけでしたが、サワガニに出合えたので、イメージがふくらんだのかもしれません。
川の中には身近に見る生きものとはずいぶん違う生きものがいました。とても貴重な体験だったと思います。次回は「宝塚自然の家」で生きもののつながりを学習します。

講師/木村（俊）　　文・写真/吉田